

【会員増強・職業分類委員会】 委員長 井筒 亮平

1. 方針

- ①クラブの会員増強（プラス2名）と現会員63名の維持を図る。
- ②職業・年齢といった地域社会を反映した幅広い方面から会員を集めて、更に多様性に富むクラブにしていく。
- ③クラブのイメージを高め、入会者にロータリーの魅力を伝えていく。

2. 活動計画

- ①アンケート調査を実施し、会員増強の意識や入会候補者の現状を把握する。
- ②会員一人一人がロータリーの代表であるという自覚を持って、入会候補者を探し出す。新会員の勧誘は全会員の職務になっているので、友人・家族・同僚・仕事の知人・地域のリーダーに進んで声を掛ける。
- ③入会見込み者にロータリーの魅力や具体的メリットを伝え、入会候補者は実際に例会に招待し、クラブの雰囲気や活動内容を知って頂く。
- ④クラブ広報委員会と協力し、ロータリーに対する公共のイメージ向上に努める。
- ⑤入会者ができるだけ早く全会員と個別に挨拶ができて親睦を深められるように、現状の例会での紹介、記念品の贈呈、新入会員歓迎会のほかに更に多くの機会を創れるようにしていきたい。

【会員選考・ロータリー情報委員会】 委員長 塚崎 寛

1. 方針

- ①会員選考としては、ロータリー活動に理解を示し、楽しく活動に参加して頂ける方を選考していく。
- ②ロータリー情報としては、ロータリークラブに関する種々の情報を会員へ提供し、ロータリークラブへの理解を深めることに努める。

2. 活動計画

- ①会員増強委員会と連絡を密にして、ロータリアンとしての的確な人選をする。
- ②新入会員を対象にロータリー研修会を開催し、活動への理解を勉強して頂く。
- ③ポケットサイズの会員名簿を作成し、配布する。

【SAA】 委員長 尾上 信哉

1. 方針

ロータリーの基本である例会への出席を更に促進するべく、和やかで楽しく、かつ品位と秩序ある例会運営に努める。

2. 活動計画

- ①例会場の設営
早めの出席者への懇談コーナーを設ける。
- ②希望者には量の少ない食事を提供する。（グリーンカード）
- ③会員の誕生日、入会記念日、結婚記念日の紹介をする。
誕生祝は花、鉢植え、ワインのうち希望の品を自宅へ届けるか、直接渡す。
新会員には名前入り「エンブレム」をプレゼントする。
誕生者紹介時、代表1名に挨拶をお願いする。
- ④例会の進行(司会)はSAAメンバーが原則1ヶ月交代で輪番制とする。

【出席・クラブ会報・広報委員会】 委員長 赤星 昭典

1. 方針

<出席>

例会出席によって親睦が得られ、奉仕が始まっていくことの意味を理解して頂き、これまで以上の出席率向上を図りたい。

<クラブ会報>

掲載内容を、関心を持って読んで頂けるような、週報作成に努める。

<広報>

ホームページの更なる充実を図り、ロータリー活動を理解して頂くための広報手段を検討する。

2. 活動計画

<出席>

- ①出席状況は従来どおり週報に掲載し、会員全員に周知することで出席率の向上を目指す。
- ②新会員には、入会時や新人研修会などでメーカーについて的確な指導と意識向上に努める。

<クラブ会報>

興味を持って、積極的に見て読んでもらえるような紙面づくりを検討する。

<広報>

- ①会員に『ロータリーの友』へ寄稿して頂けるように呼びかける。
- ②ホームページ等で当クラブの活動内容をわかりやすく動画等で掲示し、地域社会へアピールする。

親睦活動・プログラム委員会】 委員長 安田 伸幸

1. 方針

<親睦>

- ①親睦会等を通じて会員同士の懇親を深め、会員が例会、親睦会を楽しみに出来るようなクラブ作りを目指す。
- ②例会において会員、来訪ロータリー、ゲストを出迎え、和やかな例会運営に協力する。

<プログラム>

前年度同様、会員卓話を継続し、他クラブなどの卓話者などを参考にしたゲスト卓話、音楽例会の開催。

2. 活動計画

<親睦>

- ①親睦会の開催：観月会(9/26)、新年会(1/16)、観桜会(3/27)、賀寿会(6/19)
- ②その他の親睦会：
歓送迎会、ゴルフコンペ後の親睦会（2回予定）、ぶどう狩りを行う。

③ゴルフ同好会：

- ・クラブコンペ4回開催
- ・第9・第10グループゴルフ大会参加（5月14日）

④ニコニコ袋（目標額200万円）

<プログラム>

- ①プログラム専任の委員を設け、外部講師の選定に当たる。
- ②会員卓話、音楽例会の開催

【職業奉仕委員会】 委員長 高田 祐治

1. 方針

ロータリアン各自の職業における高い道德水準維持向上を目指し、職業的スキルを社会の問題やニーズに役立てるよう活動する。

2. 活動計画

- ①「四つのテスト」の実践
 - ・例会場に毎回「四つのテスト」の標示板を掲示する。
 - ・毎月第一例会時に「四つのテスト」を全員で唱和する。
- ②職場訪問
 - 歴史文化博物館 訪問予定
- ③「その道ひとすじの顕彰」を行う。
- ④社会奉仕委員会と共に清掃を行う。

【国際奉仕・米山記念奨学委員会】 委員長 池永 秀敏

1. 方針

<国際奉仕>

「国際間の理解、親善と平和を推進する」という国際奉仕の理念を会員皆さんに更に理解してもらうための情報を提供し、この理念に基づく活動に協力していく。

<米山記念奨学>

将来、母国と日本との架け橋となって、国際社会で活躍する留学生の支援活動を推進し、信頼関係を築く。

2. 活動計画

<国際奉仕>

- ①ロータリーで行われている国際奉仕の活動やプロジェクトに関する情報を提供する。
- ②留学生との交流会、例会での卓話を実施する。

<米山記念奨学>

- ①米山記念奨学への理解が深まるよう米山月間の機会を利用して、DVD等の資料を使い、活動を浸透させる。
- ②積立制度を活用した寄付金への協力をお願いし、米山功労者3名を目指す。
- ③米山奨学生に対し、研究内容や自国の現状などを報告してもらう。

【社会奉仕委員会】 委員長 田中 岳司

1. 方針

たくさんの会員の皆さんに参加を呼びかけ、委員同士が協力して、楽しく、意義のある社会奉仕活動を実践していきたい。

2. 活動計画

- ①清掃活動：唐八景公園清掃（9月）
- ②奉仕活動：ながさきゆうゆう牧場体験会企画・参加（11月）
ハンドベルコンサート&サンタの集い企画・参加（12月）
- ③セミナー：社会奉仕委員会セミナー（12月）
- ④その他：熊本地震などへの支援活動

【青少年奉仕・インターアクト委員会】 委員長 渡邊 芳明

1. 方針

青少年奉仕委員会とインターアクト委員会が一つにまとめられ2年目となります。昨年同様、インターアクトも青少年奉仕の一環と考え、取り組んでいこうと思います。青少年奉仕はインターアクトクラブ活動を含め、会員と青少年との交流活動ならびに青少年奉仕活動への理解を深めます。またインターアクトクラブについては、より多くのロータリー会員のインターアクト例会への参加をお願いし、より一層の理解を求めていきます。インターアクトクラブ活動においても、国際的な奉仕活動ができないか、他インターアクトクラブとの交流について、インターアクターと話し合いながら模索していきます。

2. 活動計画

- ①ロータリーサンタ訪問（ハンドベル演奏・幼稚園児の演奏・インターアクターの参加）
- ②剣道大会への協賛
- ③ライラ（RYLA）への参加
- ④月一度のインターアクト例会への参加（全会員への参加呼びかけ）
- ⑤インターアクト年次大会への参加（7月30日～31日、諫早）
- ⑥当クラブの奉仕活動へのインターアクターの参加を呼び掛ける。
- ⑦インターアクト前・後期指導者セミナーへの参加
- ⑧地区大会の「青少年の集い」へのインターアクターの参加要請

【ロータリー財団委員会】 委員長 森崎 良昌

1. 方針

ロータリー財団は会員皆様方の寄付で成り立っております。本年度も皆様方の善意ある御協力で、たくさん寄付をお願い致します。

2. 活動計画

- ①ロータリー財団への年次寄付目標を年間1人平均150ドルを目標としております。宜しく願い致します。
- ②ポリオプラス寄付金の目標を1,500ドルと致します。
- ③ポール・ハリス・フェローの継続と増員に努めます。
- ④ベネファクターの会員を募集しています。